

令和4(2022)年 No.1254

広報 いせはら

Public Relations Paper

主な記事

- 2 成人式は「はたちのつどい」に
- 4 5 3つのRはごみ減量のキーワード
- 8 次代につなぐ、まちの魅力

10月1日

# ISEHARA

## 3年分の思いを込めて

10月1日・2日 第55回記念伊勢原観光道灌まつりを開催

かき氷や焼きそば、クレープなどの露店が立ち並び中央通りの沿道。多くの人の熱気に包まれる会場。家族みんなで、学校の友人と、気になるあの子を誘って…。色々なパレードやダンスを見たり、近所の子どもの成長を感じたり、旧友とばったり再会したり、さまざまな思い出を築いてきた大切な時間がそこにはありました。

しかし、感染症の影響で2年連続中止となり、私たちの記憶にあるイベントの存在はどこか遠くに感じられました。そんな中、多くの人々の開催を望む声を受け、今年は実施することが決定しました。

開催時間の短縮や実施方法の変更など、これまでと様子が変わってしまったと感じることもあるかもしれませんが、しかし、本市の歴史と伝統を絶やすことなく次世代に継承していくため、多くの人の創意工夫のもと今できる最大限の形で「新しい伊勢原観光道灌まつり」を開催します。

伊勢原観光道灌まつり実行委員会(商工観光課内)  
☎94-4729

### PRポスターに秘められた制作者の思い

平成24(2012)年の第45回から、市と包括的な提携に関する協定を結んでいる東海大学に依頼し、池村明生ゼミの学生にPRポスターのイラストデザインをお願いしています。

今回制作を手がけた六尾采夏さん(教養学部芸術学科3年)にイラストに込めた道灌まつりへの思いを話していただきました。

**「待ち焦がれた瞬間が帰ってきたぞ」という気持ちを表現しました**

千葉県出身のため、当初は道灌まつりのイメージがありませんでした。また、コロナ禍で2年間中止となっていたため参加することも叶いませんでした。そのため、過去の様

子を写真や動画で見たり、伊勢原の歴史を学んだりしているうちに、市民の皆さんがどれだけこのイベントを大事にし、文化として根付いているのかを実感することができました。

そして6月から本格的に制作を開始。全体的に秋らしい黄色をベースにし、異なる色使いで奥行きをもたせることにより、伊勢原のシンボル・大山を背景に馬に乗った道灌公が「皆の者、まつりが帰ってきたぞ」と勝ちどきを上げながら、こちらに向かってくるようなイメージに仕上げました。また、文字については強い信念をもって開催に挑む意気込みが伝わる筆さばきを意識しました。

### 私たちが道灌まつりを盛り上げます

まつり2日目の10月2日(日)には、メインイベントである太田道灌公鷹狩り行列と北条政子日向薬師参詣行列が行われます。

江戸城を築城し、伊勢原で生涯を閉じた戦国武将・太田道灌公役の勝俣州和さんと、日向薬師を篤く信仰し、弟の北条義時とともに鎌倉幕府を確固たるものとした尼將軍・北条政子役の島崎遥香さんに意気込みを語っていただきました。



太田道灌公役 勝俣 州和さん

今回参加することで、まちの皆さんとまち全体が元気になれるといいと思います。皆さんに会えるのを楽しみにしています。

3年ぶりの開催ということで、皆さんが待ちに待った歴史と伝統ある伊勢原観光道灌まつりに今回参加させていただくことができ、光栄に思います。一緒に楽しみましょう。



北条政子役 島崎 遥香さん

完成したPRポスターを持つ六尾さん(東海大学湘南校舎にて)